

【案件概要】

キトゥグム県における図書館建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	キトゥグム県政府
供与額	91,919米ドル
署名者	ロモンギン・ジョゼフ(首席行政担当官)
計画名	キトゥグム県における図書館建設計画
実施地	キトゥグム県キトゥグム市(ウガンダ北部)
供与内容	図書館, トイレ棟, ソーラーシステム, 貯水タンク, 図書館用家具
贈与契約署名日	2017年1月17日

ウガンダ北部は、過去20年以上にわたり、反政府勢力「神の抵抗軍」(LRA)と政府軍との間で内戦が繰り広げられ、多くの児童が正規の教育から取り残された地域で、退学率も相対的に高止まりしています。このような状況を改善するため、キトゥグム県政府は日本人が代表を務めるNGOと協力し、2010年に図書館を設立しました。同図書館は築20年以上が経過し老朽化した収容人数が40人程度の小さな施設を利用しているため、月間のべ1,700人ほどの来館者がありますが、全員が本にアクセスできるわけではありません。また蔵書の5分の1ほどしか陳列できていない状況です。加えて、県政府は若者の識字率向上のために、識字強化政策(FALプログラム)や児童保護政策を実施していますが、若者を指導する立場にある指導員の能力強化や、トレーニングする場所がないことで制限されている状態です。本計画では、ワークショップスペースを備えた新規図書館を建設し、本へのアクセスを向上させるとともに、指導員のトレーニングや児童保護委員会を定期的実施することで、県全体の識字率、退学児童の再通学支援を行うことに寄与します。

2. 贈与契約署名式

2017年1月17日、在ウガンダ日本国大使館において、亀田和明大使とロモンギン・ジョゼフ首席行政担当官で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

